

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	環境行動研究小委員会	主 査 名：林田 大作 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：清家 剛 主 査 名：日色 真帆
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2024 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	初年度：「環境行動研究ワークブック作成 WG」の立ち上げ、環境行動研究関連の文献・情報源の整理、データベース作成、研究手法の整理、オンライン・フォーラムの実施。 2 年度：「環境行動のワークブック」の作成、シンポジウムまたは合同研究会の開催、研究成果の公表	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：林田大作 (大阪工業大学) 幹事：小松尚 (名古屋大学)、藤田大輔 (福井工業大学) 委員：石井敏 (東北工業大学)、伊藤俊介 (東京電機大学)、岩佐明彦 (法政大学)、垣野義典 (東京理科大学)、熊澤貴之 (茨城大学)、小林健治 (摂南大学)、橘弘志 (実践女子大学)、前田薫子 (佐藤総合計画)、三浦研 (京都大学)、水村容子 (東洋大学)、山田あすか (東京電機大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	1. 居心地の良い暮らし研究 WG：「時間と空間の質」「居心地」に着目した事例研究、ワークショップの開催、人間の行動・心理と空間との関係の考察 2. 環境行動研究ワークブック作成 WG：これまでの環境行動研究成果に関する資料の収集と整理、研究手法の整理、ワークブック (教材) の作成	
2020 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s17/

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. シンポジウム「改めて“無為”の意味を問う—何ももしない・何も考えないことがもたらす居心地の良さを見直す」 参加者数 38 名 2. シンポジウム「本がっなぐ未来—一本にまつわるヒト・コト・モノの環境行動学」 参加者数 47 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 従来の建築計画学だけでは予測・対応できない人びとの環境構築行動、社会システムと人びとの暮らしの実態・実践・予測を含む理論の構築 2. ウィズ/アフターコロナ社会における諸課題の解決、包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住のあり方を示す環境行動理論の構築
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 「居心地の良い暮らし研究 WG」主催の公開研究会を行った。 2. 「環境行動研究ワークブック作成 WG」を立ち上げ、オンライン・フォーラムを行った。
委員会活動の問題点・課題	1. コロナ禍により対面での委員会活動を中止し、オンラインを活用した。 2. 「新しい生活様式」と生活の質 (QoL) を「居心地」という視点から考察する手法を開発する必要がある。